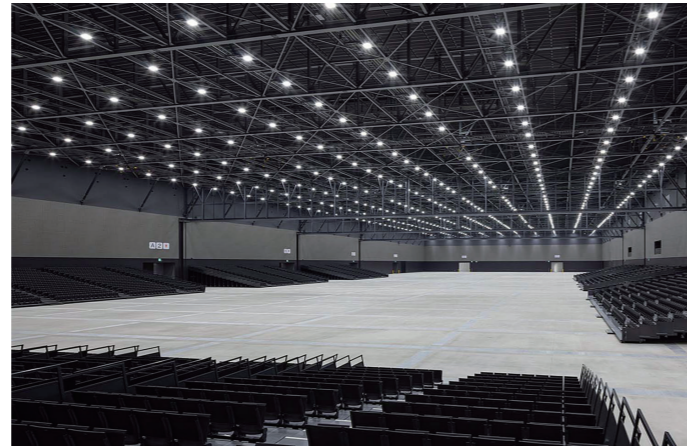


名古屋市国際展示場



第1展示館 外観

「名古屋市国際展示場」では、中核施設である「第1展示館」を移転改築。海に面した立地に位置し、波の揺らぎをイメージしたウェーブが印象的な外観。展示会、見本市、コンサートなどさまざまなイベントが開催される。



第1展示館 展示ホール

柱のない展示スペースとしては日本最大級。展示面積は約20,000㎡。大規模な展示会や見本市、コンサート・スポーツイベントなどが開催可能。可動式間仕切りにて最大4分割でき、多彩な利用が可能となっている。



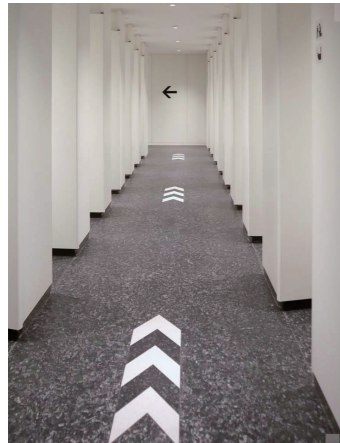
第1展示館 2Fコンコース

あおなみ線「金城ふ頭駅」から直結するにぎわいデッキを通り、雨にぬれず2Fコンコースへ。展示ホールの出入口がある1Fロビーには、このコンコースからエスカレーターで降りるアプローチとなっている。



第1展示館 トイレ入口・多目的トイレ

イベント開催時の混雑緩和を促すため、ホール側のトイレは一方通行仕様。トイレ入口には触地図を掲示。また、多目的トイレは、大型ベッド付き仕様と乳幼児連れ設備を備えた各2ヶ所を設置している。



第1展示館 女性トイレ 大便器コーナー

一方通行をスムーズに促すため、床と壁に矢印を表示し直感で進行方向がわかる仕様。手前の2ブースにはL型手すりとベビーチェアを完備している。



第1展示館 女性トイレ 洗面コーナー

明るく広いスペースの洗面コーナーには、ドライエリアを設け、手荷物の置き場所に配慮したツインデッキカウンター（陶器タイプ）を採用。そこから出口への動線は、床に矢印を示し、逆戻りしないよう工夫している。



第1展示館 男性トイレ 入口

イベントにより混雑の際は男性トイレを女性トイレへ変更できる仕様とし、突き出しサインは貼り替えが可能。入口のピクトサインもロールスクリーンにより、女性トイレの表示に変更できる。



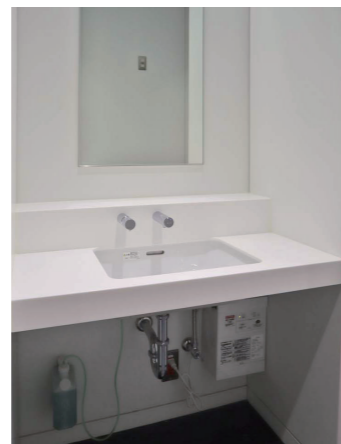
第1展示館 男性トイレ 小便器・大便器コーナー

男性トイレを、女性トイレとして利用する際は、小便器コーナーに、目隠しとしてロールスクリーンを下ろして使用。トイレ空間は白を基調にし、変更時にも違和感がない仕様としている。



第1展示館 1F楽屋 シャワー室

セキュリティーゾーンにある楽屋には、ステージ後に演者が汗を流すことができるよう、男性、女性それぞれ2室ずつシャワー室を完備している。



第1展示館 1F楽屋 トイレ

洗面器には、非接触で手洗いができる自動水栓とコンパクトな小型電気温水器を設置。大便器ブースの1ヶ所には、さまざまな身体状況の方が安心して使用できるよう、L型手すりが備えられている。



第1展示館 2F特別室 トイレ

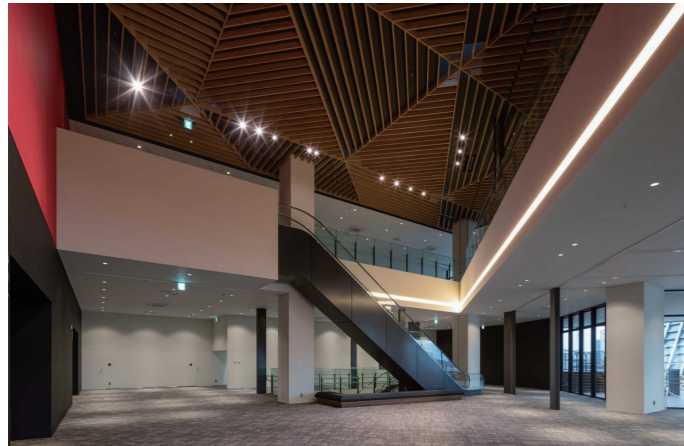
来賓の控室やイベント会期中の商談などで利用できる、格調ある特別室を3タイプ用意。それぞれの部屋には、トイレや給湯室を完備し、過ごしやすい空間となっている。



コンベンションセンター 外観

新たな第1展示館とともに新設した「コンベンションセンター」。会議ホールとレストラン・イベントスペース・展望デッキで構成。3つの展示館の結節点に位置、各展示館へは眺望も楽しめる屋根付きデッキで繋がっている。

名古屋市国際展示場



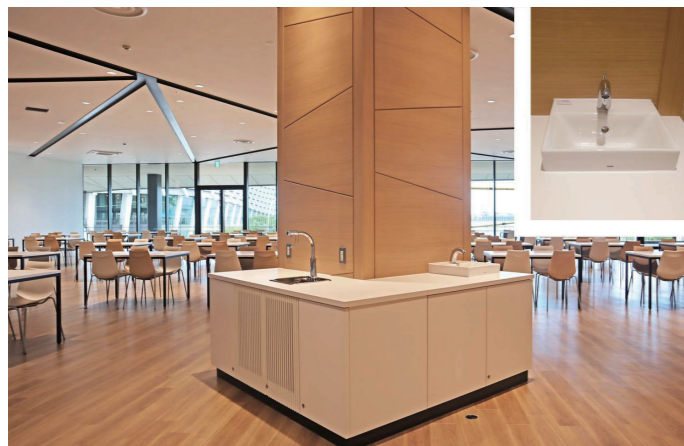
コンベンションセンター
3Fロビー

海への広い眺望を確保した、コンベンションセンターの快適なロビーには、利用者が高揚感を感じることができるベンガラ色を配し、集会施設としての魅力を高めている。



コンベンションセンター
3F女性トイレ

大便器は床の清掃性が高く、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。安全対策として女性トイレのブース内に非常ボタンを設置。退出時に身だしなみをチェックできるよう全身鏡が備えられている。



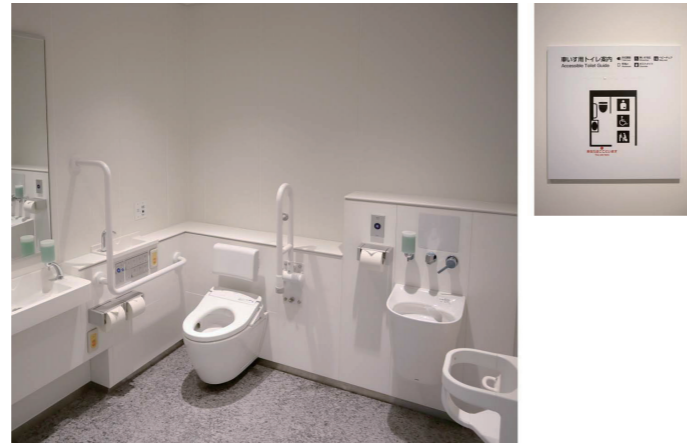
コンベンションセンター
2Fフードコート

300席利用可能なフードコート。大きな窓から海への眺望を楽しみながら食事ができる。食事前後に手洗いができるよう、非接触で使用できる自動水栓を設置したコーナーを客席の中央に配置している。



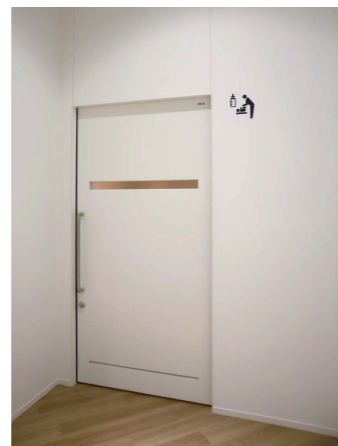
コンベンションセンター
3F男性トイレ

迷わずにトイレへと誘導できるよう、ブラックの壁から浮かび上がるように掲示された大きなピクトサイン。洗面器には、節水効果も図れる自動水栓を採用している。



コンベンションセンター
3F多目的トイレ

車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。設備の利用方法をガイドする音声案内や、入口にはトイレ内の機能と位置をわかりやすく記載した触地図を設置している。



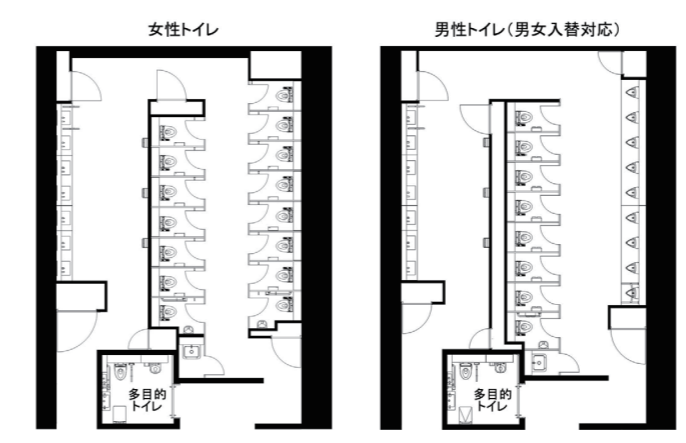
コンベンションセンター
2F授乳室・
おむつ替えコーナー

乳幼児連れの方も安心して施設を利用できるよう、ゆったりとしたスペースの授乳室を完備。おむつ替えや調乳ができる。

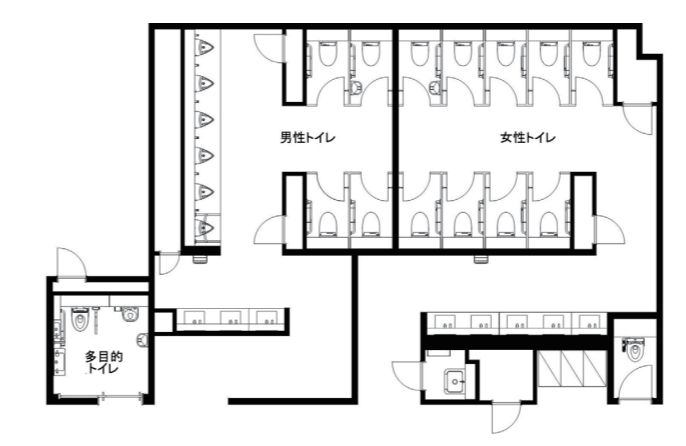


コンベンションセンター
3F男性トイレ

小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置。大便器ブースは男女ともに、すべてのブースに手すりを設置し、お子様連れに配慮して1ヶ所ベビーチェアを設置している。



第1展示館トイレ図面



コンベンションセンター
トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）」は、中部地区最大規模の国際見本市会場として、名古屋市金城ふ頭に1973（昭和48）年に建設され、開館以来、見本市・展示会をはじめとする数多くのイベント、集会在開催されてきた。2022（令和4）年10月にリニューアル事業として、3つの展示館のうち展示面積が最も大きい「第1展示館」を再整備するとともに、「コンベンションセンター」が新設された。新しい第1展示館は、日本最大級の無柱空間20,000㎡の展示場を特色とし、さまざまなイベントに対応。外観は、港の立地にちなみ、波のゆらぎをイメージした。隣接するコンベンションセンターは、施設内3つの展示館の結節点に位置、外観は船をモチーフとして相関性を演出している。

水まわりの特長

第1展示館のホール側トイレは、白を基調にしたシンプルな内装。イベント開催時の混雑緩和を促すため、スムーズな流れで利用可能な一方通行とし、利用者が直感的に進行方向がわかるよう、床や壁に矢印を表示している。特に混雑しやすい女性トイレの対策としては、入口サインの変更や小便器コーナーを目隠しして、男性トイレを女性トイレに変更できる仕様としている。コンベンションセンターのトイレは、利用者にわかりやすい大きなサインを、落ち着いた印象のトイレ空間になじむデザインで掲示。両施設ともに、大便器は清掃性に優れた壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。また、さまざまな利用者に配慮して、ベビーチェア付きのブースや大便器ブースに手すりを設置している。

建築概要

名称	名古屋市国際展示場
所在地	愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2
施主	株式会社名古屋モノづくりメッセ（第1展示館） 名古屋市（コンベンションセンター）
運営	ポートメッセなごやMICEコンソーシアム
設計	久米・竹中設計共同体（第1展示館） 竹中・久米共同企業体（コンベンションセンター）
監理	株式会社久米設計
施工	株式会社竹中工務店
竣工年月	2022年7月
敷地面積	44368.69㎡（第1展示館） 5458.42㎡（コンベンションセンター）
建築面積	31075.60㎡（第1展示館） 4266.79㎡（コンベンションセンター）
延床面積	40716.66㎡（第1展示館） 10050.75㎡（コンベンションセンター）
構造・階数	鉄骨造・地上3階（第1展示館） 鉄骨造・地上5階（コンベンションセンター）

おもなTOTO使用機器

- 大便器ユニット:UTNCAB
- ウォシュレット一体便器 ネオレストRH:CES系
- ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5534A
- 棚付二連紙巻器:YH702
- 小便器ユニット: UTNUBN
- ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
- 洗面ユニット:UTNLCC
- クリンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
- 多機能ユニット:UTNDAA
- 収納式多目的シート:EWC520系
- ベビーチェア:YKA15S
- シャワーユニット:JSV0812UL系